

# 平成 26 年度 研究計画書

## Research Plan FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座 教授
氏名 Name	林田理恵
専門分野 Academic Field	ロシア語学・ロシア語教育学

### 平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

主たる研究テーマ Principal Research Subject	①ロシア語ヴォイス研究 — 再帰動詞受動文を中心に — ②ロシア語教育ネットワーク確立に向けた基盤整備				
研究計画 Research Plan	<p>①ロシア語再帰動詞受動文について、アスペクト、モダリティー等を含む構文レベルの意味・機能特徴を中心に不定人称文との機能的差異を明らかにしてきたが、今年度は、動作性フォーカス、意志性指標の有無、モダリティー表現等の差異の背景に、非限界/限界という述語の動詞語彙の特性がより本質的に関与しているのではないかという問題意識に基づき、より広範囲なデータ収集と共起制限等をめぐる詳細な分析を行い、ロシア語における同構文の特性をさらに明らかにしていく予定である。</p> <p>②上記科研プロジェクトとして実施するアンケート調査結果の最終報告に向け、「学習環境と心理的欲求の関係性」「自律学習能力の観点から見たロシア語学習者の特性」に関する分析を進め、その結果を基に、語学教育・学習プログラムのスタンダードモデル策定—具体案検討のためのシンポジウム開催を組織（11月）する。また、各機関の教員が共同利用できる教育・就職支援サイト開発について、特に今年度はコンテンツ開発の具体的作業を進め、就職支援サイト用の情報収集、各機関の許諾とりつけ等の手続きを完了し、サイトの試験的運用を今年度末までに実施することを目的とする。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	ロシア語学	ロシア語教育学	認知科学		
キーワード Keywords	ヴォイス	再帰動詞	ロシア語教育	高大連携	